



行動します！
伝えます！
お応えします！

大西けんじの

おーにゅーす O-News (市政報告)

令和6年12月三田市議会定例会(第379回)



令和6年12月三田市議会定例会(第379回)が、11月26日から12月20日までの会期25日間で開催されました。

私自身、初めての定例会であり、緊張もありましたが、一般質問にて、

1. 地域再生における空き家に関して
2. JR周辺のまちづくりに伴う地域の活性化に関して
3. 出産、子育ての支援に関して
4. 地域医療に関して

の4項目について質問をいたしました。

1. 地域再生における空き家に関して

大西質問

人口減少、少子高齢化社会の中、また新規宅地造成等が難しい中、空き家の利用は有効な施策と考える。

(1)空き家に関する現状と課題について

既成市街地、農村地域、ニュータウン各地域の空き家数や推移と、三田市空家等対策計画におけるPDCAサイクルの課題認識について伺う。

(2)オールドニュータウンの住み替え、空き家について

住み替え推進には、現住者と転居者双方にメリットが必要と考えるがどうか。

(3)農村(市街化調整区域)地域の空き家について

農村地域の空き家についてどのようなアピールをしているのか。古民家を利用した商業需要はあるのか。

市長答弁

(1)空き家数は4430戸、空き家率は9.3%、直近10年の推移としても減少傾向にある。今後の空き家の増加は大きな課題として認識している。現在の取り組みの推進、改善策の検討など、継続的な空き家対策を進めていく。

(2)流通する物件が少なく、住み替えが起こりにくい状態。住み替えの促進に向けて、助成制度、セミナー、賃貸住宅の提供など様々な取り組みを進めていく。

(3)店舗などの立地条件の緩和や、改修費用の補助を実施しており、店舗オープンしている例もある。取り組みは継続し、更なる利用促進に向け、SNSでの発信など推進していく。

今後は、テクノパーク等市内の事業者に市外から通勤されている方々へのアプローチを強化し、移住促進を推進する。

2. JR周辺のまちづくりに伴う地域の活性化に関して

大西質問

(1)新三田駅前まちづくりの状況について

新三田駅前は、利便性が高く駅利用者も多いことから、かなりの需要があると考え。ホテル建設も始まったが、まちづくりの現状と将来の見通しについて伺う。

(2)相野駅前、広野駅前まちづくりにおける、商業施設の誘致について

相野駅前、広野駅前のまちづくりについては、各々の状況に応じた取り組みが進められているが、周辺住民は駅前を中心とした利便性の向上を求めている。まちづくりを進める上で、地域の努力だけでは難しい商業施設の誘致について伺う。

当局答弁

(1)新三田駅前周辺については、令和4年度に事業完了しており、商業施設の集積を図り、容積率の緩和を行っている。駅東側においてはスーパーマーケットや飲食店など一定の土地利用が進んでいるが、駅西側には土地利用が進んでいない区画も残っている。令和7年2月から234室の客室を有するホテルの建設工事が始まる予定であり、このホテル建設を契機に、駅周辺により多くの人が集まることで、周辺の土地活用が加速され、駅前の良さを醸し出す賑わいと活力があるまちづくりを目指す。

(2)相野駅前、広野駅前ともに地域の拠点や中心となる区域として地域核に位置づけている。商業施設として土地利用できる地区もあり、今後も地域との連携を図りながら、各々の状況に応じた支援を行っていく。

3. 出産、子育ての支援に関して

大西質問

(1)安心して出産できる環境づくりのため、陣痛タクシーの導入を進めてはどうか

核家族化が進む中、出産兆候時にもパートナー不在などがあっても移動に困らない陣痛タクシーの体制整備を望む。また、現在の出産兆候時の移動に対する現行の相談体制

当局答弁

(1)妊婦が核家族の場合、陣痛を含め出産の兆候があったときの対応への不安は大きく、陣痛タクシーは不安感の軽減につながると認識している。しかし、市内には24時間営業や常時専任の体制で対応可能なタクシー会社がなく、体制の確保は困難な状況。そのため、本市では伴走型相談支援として、出産兆候時の移動手

を知りたい。現行の相談体制があるなら、内容を子育て世帯だけでなく、未来の子育て世帯に対して周知啓発に努めることで、安心して出産ができるまちづくりにつながるのではないかと。

(2)長期休暇中の放課後児童クラブでの昼食の提供を進めてはどうか

長期休暇中の放課後児童クラブでの昼食の提供について、令和5年に幸田議員が、令和6年に福本議員から質問されているが、市のアンケート調査の結果やどういった声が多いのか、民間事業者による宅配弁当を導入した場合にどういった課題があるのか、現在の検討状況について伺う。

段に不安を抱える方には、妊婦面談などの様々な機会に事前相談を行い、夜間対応可能なタクシー会社や介護タクシー会社などの情報を提供し、不安の軽減に努めている。また、近隣の周産期医療機関には本市の現状について伝え、行政と医療機関の連携にも努めている。今後は、伴走型相談支援の充実や、介護タクシー等の利用の周知啓発の強化を図り、本市で子育てをしたいと思っただけよう努めていく。

(2)アンケート調査では約8割の方が「利用したい」との回答があった。民間事業者は注文やキャンセルに柔軟に対応ができること、市内各地の児童クラブへ配送できること等の条件を満たす必要がある。また、児童クラブでは、届いたお弁当を安全に保管し、注文した子どもたちに確実に配布する人員や設備が必要で。こうした課題はあるものの、**試験的实施なども必要と考えており、早期の実現に向けて取り組みを進める。**

4. 地域医療に関して

大西質問

(1)地域における、かかりつけ医の減少について

かかりつけ医は地域住民にとって重要であるが、医師の高齢化に伴い、今後減少していくことが危惧されており、ある地域では街の中心にある医療機関が閉院し、住民が困っている現状がある。地域における住民は生活において、医療機関、日用品、食料品の買い物、交通が大事であり、かかりつけ医に対する認識、医療機関の地域の偏在について現状を踏まえた市の考えについて、今後の展開も併せて伺う。

当局答弁

(1)現在、市内には約80箇所の医療機関があり、地域によって医療機関の数は様々だが、高齢者福祉分野における保健福祉圏域である市内6つの日常生活圏域において、医療機関が全くない圏域は現在のところない状況。また、往診や送迎を行う医療機関もあることから、一次医療の提供体制は維持できていると考える。しかし、昨今の全国的な医師不足や都市部への医師の集中、診療科の偏在などにより、今後影響が出てくる可能性もあり、新たな医療機関開設に対する国や県の補助の調査や、移動診療車による巡回診療など、持続可能で安心できる地域医療を提供できるよう努めていく。

一般質問や本会議の様子はYouTubeで配信されております

大西は「三田市議会 令和6年12月定例会第2日（12月11日）」の約4:00:00頃から発言をしております



12月定例会で提出された議案に対する賛否

議案番号	結果	議員の賛否	大西の賛否	議案番号	結果	議員の賛否	大西の賛否
議案 第82号	可決	全会一致	賛成	議案 第91号	可決	全会一致	賛成
議案 第83号	可決	賛成：18 反対：3	賛成	議案 第92号	可決	全会一致	賛成
議案 第84号	可決	全会一致	賛成	議案 第93号	可決	全会一致	賛成
議案 第85号	可決	全会一致	賛成	議案 第94号	可決	全会一致	賛成
議案 第86号	可決	全会一致	賛成	議案 第95号	可決	全会一致	賛成
議案 第87号	可決	賛成：18 反対：3	賛成	議案 第96号	可決	全会一致	賛成
議案 第88号	可決	全会一致	賛成	議案 第97号	可決	全会一致	賛成
議案 第89号	可決	全会一致	賛成	議案 第98号	可決	全会一致	賛成
議案 第90号	可決	全会一致	賛成	議案 第99号	可決	全会一致	賛成

議案の詳細内容は以下を参照ください



↑クリック↑

10月～12月間の市民からの相談件数：16件 フラット移転に伴うフラワータウン市民センターの一時利用不可に対してなど

大西けんじ 後援会事務所 〒669-1513 三田市三輪二丁目3番33号 ☎ 079-563-1860 FAX 079-563-5093
 藍・つじが丘事務所 〒669-1341 三田市西相野560-4 ☎ 079-559-7003(FAX兼用)
 本人連絡先 ☎ 090-9092-4621 ✉ hfwfc27720@yahoo.co.jp

大西けんじはよくある政治家のイメージではなく、皆さまの身近な存在、三田市で暮らす皆さま・三田市で働く皆さまの代表として頑張っ参ります！「誰もが安心して暮らし、笑顔になれるまち三田！」の実現のためにも、皆さまのご意見や声をお聞かせください。各種SNSで大西けんじの日々の活動や思いを発信しています。是非フォローよろしくお願いたします。

YouTube



↑クリック↑

Facebook



↑クリック↑

Instagram



↑クリック↑

X



↑クリック↑